

令和5年度 入学式 式辞

本日ここに岐阜保健大学に入学される看護学部・リハビリテーション学部、大学院修士課程の皆さん、並びに、岐阜保健大学医療専門学校スポーツ健康学科の皆さん、誠におめでとうございます。皆さんを心から歓迎いたします。また、本日の慶びにいたる道のりを支え、励まし、導いてこられた御家族の皆様にも、本学の教職員を代表して心からお祝いを申し上げます。

三年前からの、新型コロナウイルス感染症により、日常生活が一変した状況のなか、医療専門職を目指す将来性豊かな新入生の皆さんや、より高度な看護実践者や教育研究者、保健師、助産師を目指す志をお持ちの大学院入学生をお迎えし、今日の日、入学式を挙げることは、本学にとってこの上ない喜びであります。

2019年に岐阜保健大学看護学部が開学し、2021年にリハビリテーション学部（理学療法学科・作業療法学科）、及び岐阜保健大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程（看護学研究コース・保健師コース・助産師コース）が開設し、岐阜保健大学医療専門学校スポーツ健康学科（はり・きゅう科、柔道整復科）を含め、7職種の医療専門職を養成する医療系総合大学へと発展しています。

本学の建学の精神は、「命と向き合う心、知識、技をもった地域医療に貢献する医療人の養成」です。優秀な医療人を育成し、地域医療をしっかりと支えると同時に、大学院の入学生の皆さんは、本学の研究をさらに発展させ、その成果を世界に発信していただくことを期待しています。さらに、助産師・保健師コースの皆さんは、助産師・保健師として、さらに専門性をきわめることを目指し、教育、研究、情報を本学から発信し、皆さんと共に大いなる発展を遂げたいと思います。

新入生の皆さんは、今、期待で満ちあふれていることと思います。本学に入学された皆さんに、二つのことをお話ししておきたいと思います。

一つ目は、『自ら主体的に学ぶ態度』を育んでいただきたいです。いかにして自らの医療人としての人間力を高め、医療に関する高い能力を備えた医療専門職を目指し自分自身を向上していくかということが重要となります。自ら主体的に学ぶ態度を育み、医療に関する学問を究め、命と向き合う心を鍛えていただきたいと思います。医療専門職を目指す皆さんが、医療技術の進歩や社会の変化に応じて、医療人として社会で活躍するためには常に学び続けることが重要です。

二つ目は、医療の未来の担い手として社会からの大きな期待と責任を負った存在となったということを受け止めていただきたいです。地域医療の未来を切り開いていくための、さらに、この令和時代を担う医療人の育成、教育・研究に邁進していくことが本学の使命であります。実践的な学びを通じ、次世代の担

い手へ、命に携わる保健医療のやりがいと尊さを教職員が一丸となり皆さんに伝えていきます。皆さんは、それぞれの医療職での未来の自分の社会的な役割を自覚していただき、優れた医療人を目指して、医療を学ぶ学生として責任ある行動を確立していただきたいと思います。

まずは、夢を叶える第一歩を踏み出そうとしている自分に自信を持ってください。そして未来への覚悟を新たにし、夢を実現させてください。それぞれの医療専門職として社会へと旅立って行かれることを期待しています。しかし、時には壁にぶつかり、或いは挫けそうになることもあろうかと思えます。今日の自分への自信と未来への覚悟という初心に立ち還ることで、必ず乗り越えられるものと信じております。

また、このキャンパスでは、生涯を通じる仲間たちとの出会いの場でもあります。学生生活は学びだけではありません、さまざまなことに挑戦してこれからの学生生活を楽しみ、人としての幅を広げてください。多職種によるチーム医療は、現代の医療の常識であり重要なポイントです。学部間の学生交流もどんどん進めてください。

我々教職員一同は、皆さんが充実した有意義な学生生活を送られるよう、全力で支援してまいります。ご家族の祝福と期待を胸に刻み、感謝の念を持って、学生生活に、十分に励んでいただきたいと思えます。本学で学んだことが生涯の宝となり、皆さんが、それぞれ看護師、理学療法士、作業療法士、看護学修士、保健師、助産師、はり・きゅう師、柔道整復師となり、優れた医療人へと成長されることを心より祈念し、入学式の式辞とします。

令和5年4月1日

岐阜保健大学学長 河田美紀